

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成23年12月8日(2011.12.8)

【公開番号】特開2010-210967(P2010-210967A)

【公開日】平成22年9月24日(2010.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-038

【出願番号】特願2009-57282(P2009-57282)

【国際特許分類】

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

G 0 3 B 21/16 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 21/14 C

G 0 3 B 21/14 A

H 0 4 N 5/74 Z

G 0 3 B 21/16

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月24日(2011.10.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明のプロジェクターは、光源を含む光学手段と、光源の点灯処理を含む起動処理を制御する起動処理制御手段と、を備え、起動処理制御手段は、光源の点灯指令を含む簡易起動処理を、オペレーションシステムの連動を伴うメイン起動処理に先行して行うように制御することを特徴とする。

上記に記載のプロジェクターにおいて、メイン起動処理は、プログラムおよびデバイスの初期化処理を含むことが好ましい。

上記に記載のプロジェクターにおいて、プロジェクター内部を冷却するための冷却手段をさらに備え、簡易起動処理は、冷却手段の駆動開始指令を含むことが好ましい。

上記に記載のプロジェクターにおいて、メイン起動処理は、簡易起動処理における冷却手段の駆動開始指令に対して、実際に冷却手段が駆動しているか否かの監視処理を含むことが好ましい。

上記に記載のプロジェクターにおいて、メイン起動処理は、簡易起動処理における光源の点灯指令に対して、実際に光源が点灯しているか否かの監視処理を含むことが好ましい。

本発明のプログラムは、コンピューターを、上記に記載のプロジェクターにおける各手段として機能させることを特徴とする。

本発明のプロジェクターの起動方法は、プロジェクターが、光源の点灯処理を含む起動処理時において、光源の点灯指令を含む簡易起動処理を、オペレーションシステムの連動を伴うメイン起動処理に先行して行うことを特徴とする。

なお、以下の構成としても良い。

本発明のプロジェクターは、光源を含む光学手段と、光源の点灯処理を含む起動処理を制御する起動処理制御手段と、を備え、起動処理制御手段は、光源の点灯指令を、他の処理に先行して行うように制御することを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光源を含む光学手段と、

前記光源の点灯処理を含む起動処理を制御する起動処理制御手段と、を備え、

前記起動処理制御手段は、前記光源の点灯指令を含む簡易起動処理を、オペレーションシステムの連動を伴うメイン起動処理に先行して行うように制御することを特徴とするプロジェクター。

【請求項 2】

前記メイン起動処理は、プログラムおよびデバイスの初期化処理を含むことを特徴とする請求項 1 に記載のプロジェクター。

【請求項 3】

プロジェクター内部を冷却するための冷却手段をさらに備え、

前記簡易起動処理は、前記冷却手段の駆動開始指令を含むことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のプロジェクター。

【請求項 4】

前記メイン起動処理は、前記簡易起動処理における前記冷却手段の駆動開始指令に対して、実際に前記冷却手段が駆動しているか否かの監視処理を含むことを特徴とする請求項 3 に記載のプロジェクター。

【請求項 5】

前記メイン起動処理は、前記簡易起動処理における前記光源の点灯指令に対して、実際に前記光源が点灯しているか否かの監視処理を含むことを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載のプロジェクター。

【請求項 6】

コンピューターを、請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載のプロジェクターにおける各手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 7】

プロジェクターが、

光源の点灯処理を含む起動処理時において、前記光源の点灯指令を含む簡易起動処理を、オペレーションシステムの連動を伴うメイン起動処理に先行して行うことを特徴とするプロジェクターの起動方法。